

監査報告書

令和2年5月15日

徳島県知事

飯泉嘉門 殿

監事 江本正吾



監事 森口幸一



私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度の理事の職務の執行及び事業報告・計算関係書類及び財産目録について監査を行いましたのでその方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果について

① 法人本部及び各事業所について、事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

・補足事項

各事業所とも安全面・サービスの向上等年々レベルアップしている。新年度の事業計画で掲げている重点目標を柔軟に、ぜひクリアして頑張ってもらいたい。

② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果について

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

・補足事項

なし。

以上